

# DX 学校

受講のしおり

## DX学校 | 目次

はじめに .....	P.3
受講に必要なもの .....	P.4
カリキュラム .....	P.10
スケジュール .....	P.13
受講の基本的な流れ .....	P.18
動画視聴 .....	P.19
教科書を読む .....	P.20
小テスト受験 .....	P.21
課題提出 .....	P.22
実践型講義の受講 .....	P.23
オンライン学習システムの使い方 .....	P.24
教養講義(動画)を受講する .....	P.24
小テスト受験 .....	P.52
課題提出 .....	P.57
ウェブ会議システムの使い方 .....	P.60
実践型講義を受講する .....	P.60
困ったとき .....	P.66

## はじめに

DX学校へのご入学、心よりお祝い申し上げます。

生成AIやデータ利活用、クラウド、ノーコードツールなど、デジタル技術は今や企業活動の中核を担う存在となりつつあります。IPA『DX動向2024』によると、日本企業の約73.7%が「DXに取り組んでいる」と回答しており、その波は着実に広がりを見せています。しかし一方で、DXを推進できる人材の不足や知見の欠如といった壁に直面し、事業変革や具体的な成果創出に至っている企業は、まだ限定的です。

皆さまが本講座で学ぶ内容は、こうした現状を一步前に進め、自社の未来を切り拓くための強力な武器となります。ITの基礎から最新デジタル技術、実務で活かせる知見までを体系的に学び、変革を牽引する力を私たちと一緒に養っていきましょう。

本資料は、受講に必要な準備や講座の進め方、学習内容をまとめた「受講のしおり」です。ぜひご一読いただき、今後の学びをより実りあるものとしていただければ幸いです。

ともに学び、変革を実現していきましょう。

DX学校 校長  
株式会社ディグナ  
代表取締役 梅崎 健理

## 受講に必要なもの



# 受講に必要なもの

受講に必要なものは下記の6つです。

1つ1つ確認しチェック(✓)を入れましょう！

番号	名称	準備	確認
1	IT導入士(初級)講座教科書	講師よりご案内	<input type="checkbox"/>
2	受講のしおり(本資料)	オンライン学習システムからダウンロード	<input type="checkbox"/>
3	『Google Workspaceのはじめ方』(PDF)		<input type="checkbox"/>
4	オンライン学習システムの ユーザ名とパスワード	メールにてご案内	<input type="checkbox"/>
5	インターネット環境	各自準備	<input type="checkbox"/>
6	オンライン講座を受講可能なパソコン		<input type="checkbox"/>

# 受講に必要なもの

## 受講のしおり(本資料)

受講に必要な準備や講座の進め方、学習内容をまとめた資料です。

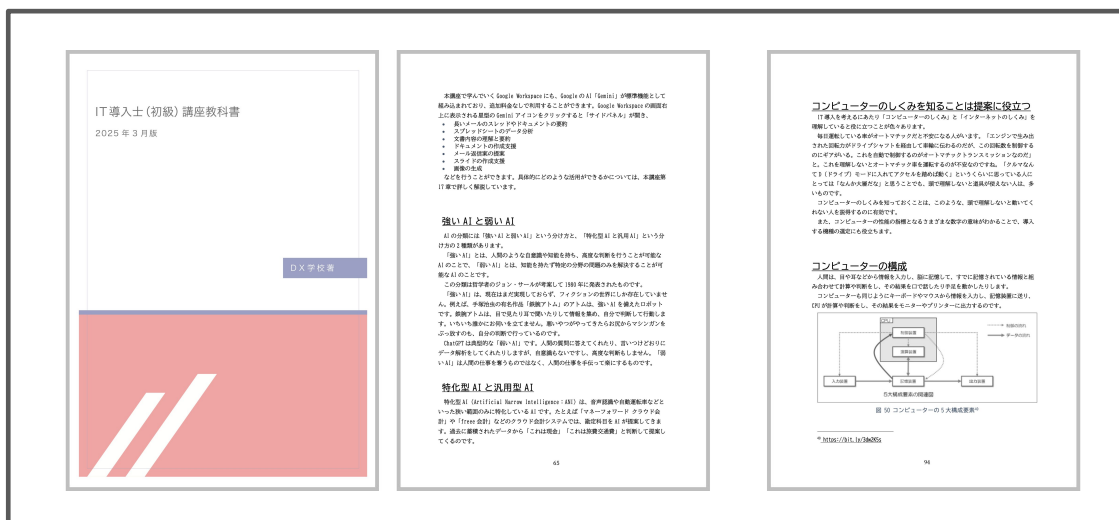
受講前に、ご一読くださいますようお願い申し上げます。



## IT導入士(初級)講座教科書

一般社団法人 IT導入診断士協会が実施する「IT導入士検定」の公式テキストであり、講座受講用の教科書です。

講義中だけでなく、予習・復習にも積極的にご活用ください。



# 受講に必要なもの

## オンライン学習システムのユーザ名とパスワード

「教養講義(動画)」の受講には、オンライン学習システムを使用します。

オンライン学習システム「Moodle」にログインするためのユーザ名とパスワードは、お申し込み時のメールアドレス宛にメールでご案内しております。

万が一確認できない場合は、事務局までお問い合わせください。



## Google Workspaceのはじめ方

教科書または「Moodle」に掲載のリンクからPDFファイルをダウンロードすることでご覧いただけます。

Google Workspaceを扱う講義の際にご活用ください。



# 受講に必要なもの

## インターネットに繋がったパソコン

受講の際には、パソコンとインターネット環境が必要です。

【ネット環境】以下の通信速度をご参照ください。

【通信速度】10.0Mbps 以上(推奨)

【ブラウザ】Google Chrome/最新バージョン(推奨)

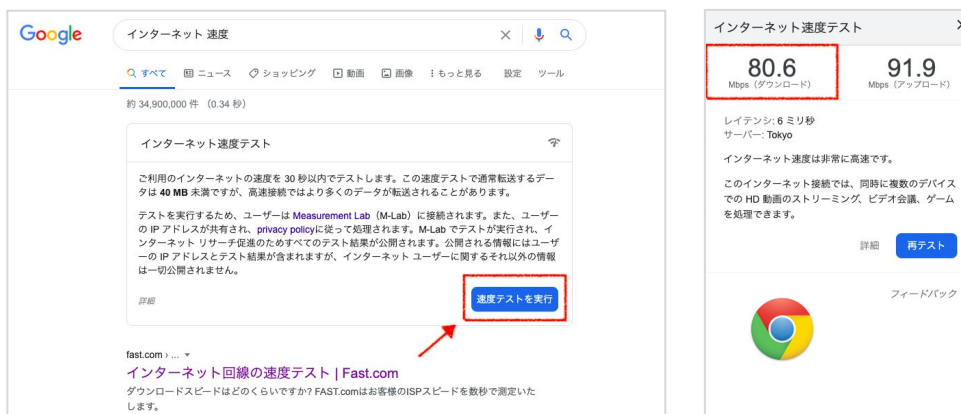
※講師との講義は周囲の物音や話し声が少ない場所にて受講をお願いいたします。

不安な方は、事務局までご相談ください。

※通信速度が遅い場合、映像が途切れる場合がございます。また、動画の視聴や講師とのウェブ会議に支障をきたす可能性がございます。

### ヒント | 速度の計測

パソコンのインターネット接続時の速度は、Googleで簡単に調べることができます。



1. Google で「インターネット 速度」と検索をします。
2. 青いボタン「速度テストを実行」をクリックします。
3. テスト結果の左側の数値が「10.0 Mbps」を超えていることを確認します。

# 受講に必要なもの

## オンライン講義に対応できるパソコン

---

使用するパソコンの推奨スペックはこちらです。

【OS】MacOS 10以降 or Windows 10 以降

【メモリ】8ギガ以上(推奨)

【カメラ】パソコン内蔵カメラもしくはWebカメラ(必須)

【マイク】パソコン内蔵マイクもしくはヘッドセット

【イヤホン】パソコン内蔵スピーカーもしくはヘッドセット・イヤホン

※不明な方は事務局または担当講師までお問い合わせください。

# カリキュラム

# カリキュラム

## カリキュラム一覧

受講回	章	教養講義内容(動画&教科書)	実践型 講義内容
1	第1章	IT導入士の業務内容	・IT導入士の仕事とIT導入のメリットを話し合う
	第2章	ITを導入するメリット	
2	第3章	時代の変化に合わせていく	・自社の業界など、近いところで探して研究してみた成功事例の発表
	第4章	成功事例を学習してみよう	
3	第5章	コンピューターのしくみ	・コンピューターとインターネットのしくみについて疑問点を話し合う
	第6章	インターネットのしくみ	
4	第7章	独自ドメインを取得して、メールを送受信できるようにする	・ドメインの取得、メールの運用がうまくいっているか確認する ・カレンダー共有がうまくいっているか確認する
	第8章	カレンダーを共有する	
5	第9章	ビジネスチャットができるようにする	・ビジネスチャットを使ってみる ・メーリングリストを使ってみる
	第10章	チャットとメールを使い分ける	
6	第11章	ウェブ会議ができるようにする	・ウェブ会議を使ってみる ・オンライン講義の議事録を作成してみる
	第12章	議事録をリアルタイムに作成する	

# カリキュラム

## カリキュラム一覧

受講回	章	教養講義内容(動画＆教科書)	実践型 講義内容
7	第13章	ファイルを共有する	・pdfファイルなどをGoogleドライブに保管する ・電話連絡帳を使ってみる
	第14章	電話連絡帳を作成する	
8	第15章	チームの情報ポータルページを作成する	・ポータルページ、AppSheetのアプリを確認する
	第16章	Google AppSheetでアプリを作成する	
9	第17章	Gemini for Google Workspaceを使用する	・Google Workspaceの総復習
	第18章	Google Workspace以外の選択肢	
10	第19章	IT導入5つの原則	・各自の会社のIT導入状況を話し、ソフトウェアの 選択肢に関して講師からアドバイスをもらう
	第20章	ソフトウェアの種類： 業務ソフトウェアと基幹ソフトウェア	
	第21章	目標を明確にする	
11	第22章	ワークフローを書いてみる	・自社のワークフロー図を書いてみる ・完成した各社のワークフロー図を発表し議論する
	第23章	導入計画を立案する	
12	第24章	プレゼンテーション	・スケジュールと予算表を発表しよう ・プレゼンテーションを作ろう
	第25章	IT導入を実行していく	
IT導入士検定			

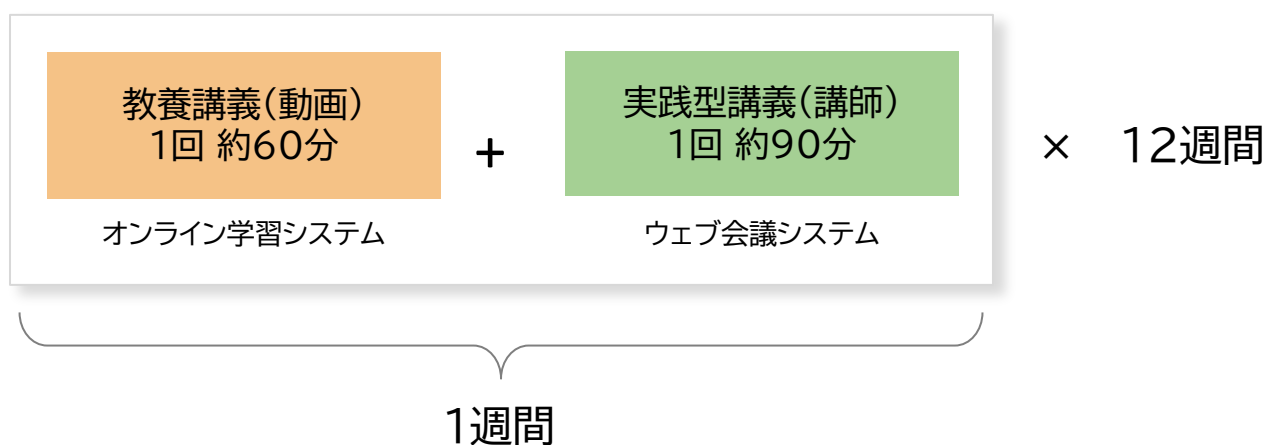


## スケジュール

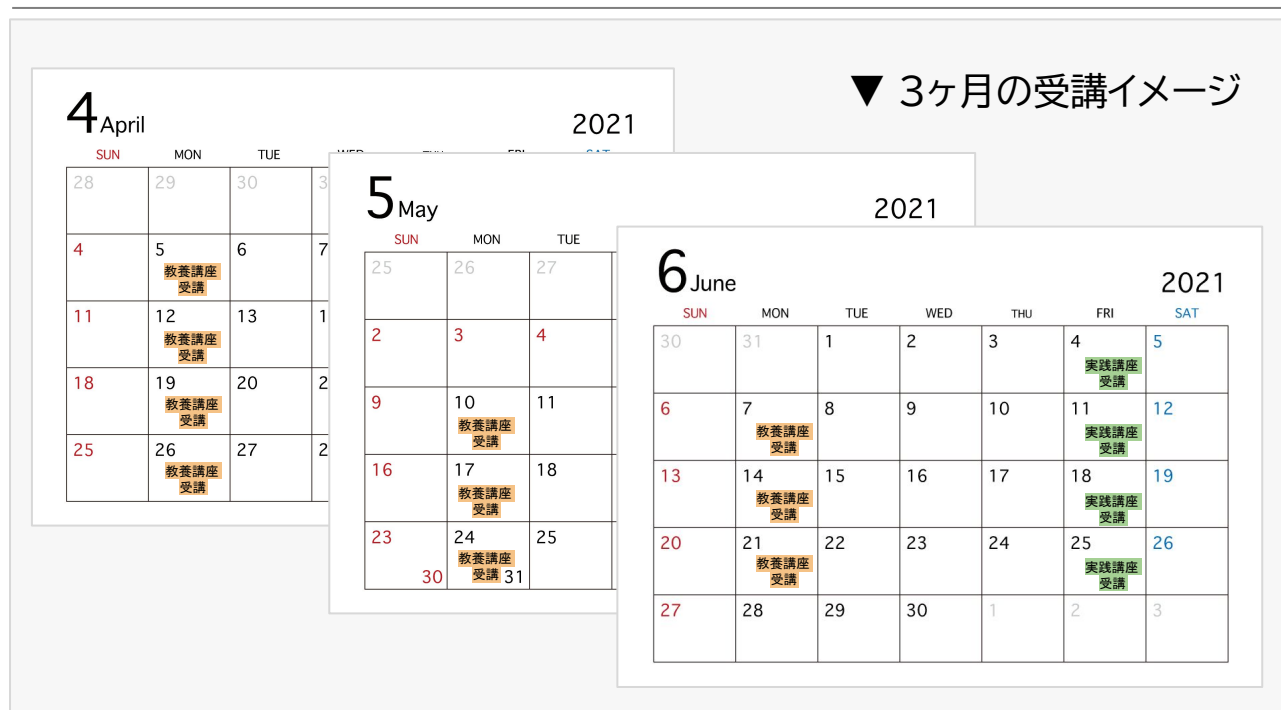
# スケジュール

講師による「教養講義(動画)」と「実践型講義」の二本立て

本講座では、ウェブ会議システムで実施される講師による「教養講義(動画)」とオンライン学習システムで実施される「実践型講義」で、社内のIT導入を推進するための知識と技術を習得します。



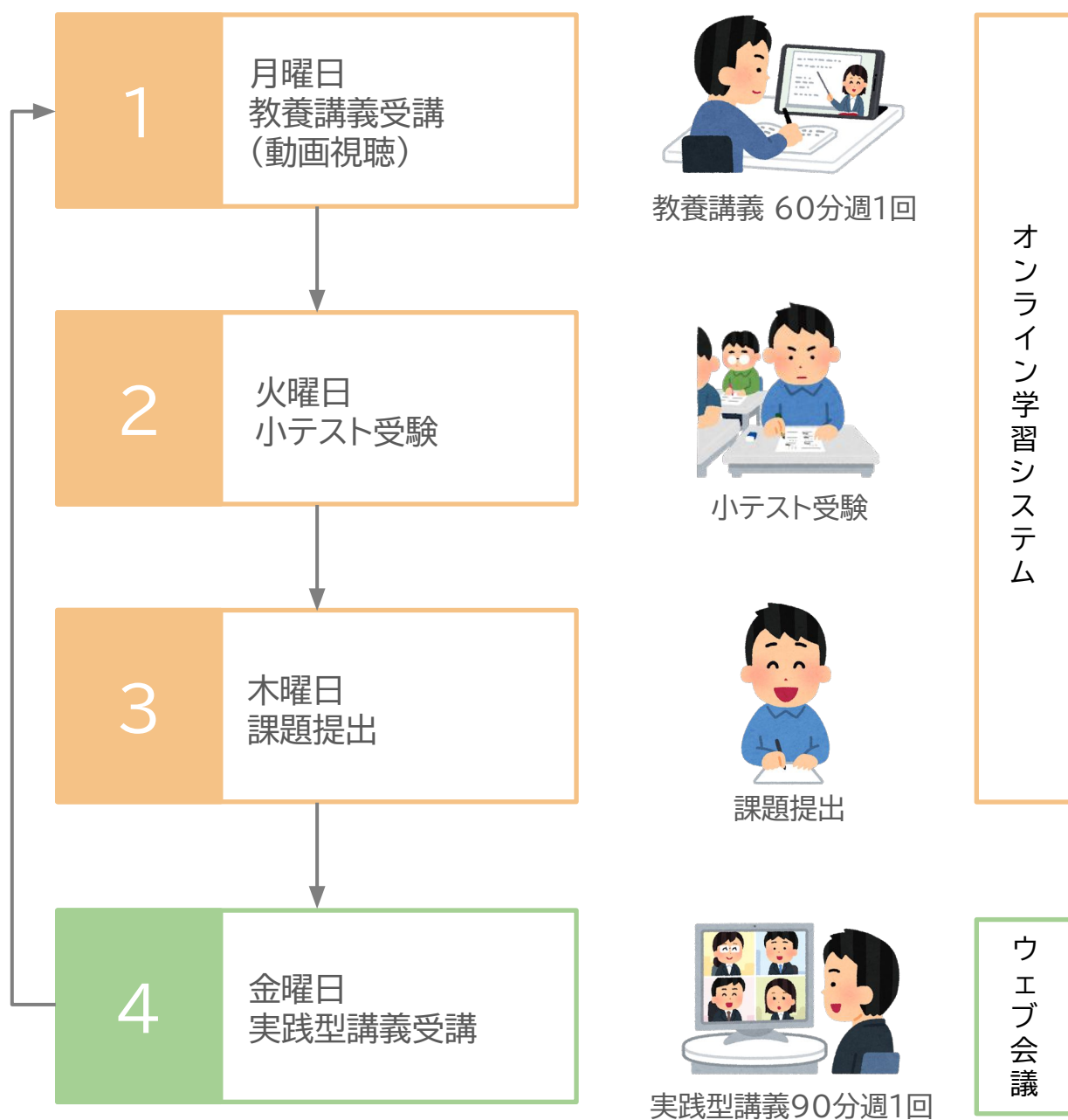
1週間(教養講義 約60分 + 実践型講義 約90分)×12週間=3ヶ月間



# スケジュール

## 1週間の流れ(例)

「教養講義」と「実践型講義」の1週間の流れの一例です。



# スケジュール

## 3ヶ月間の受講スケジュール

スケジュールが決まったら、「受講日」の欄に記入しましょう。

受講回	種別	講義内容	受講日
【第1回】	教養講義 (動画)	・IT導入士の業務内容 ・ITを導入するメリット	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・IT導入士の仕事とIT導入のメリットを話し合う	_月 _日 _時 _分
【第2回】	教養講義 (動画)	・時代の変化に合わせていく ・成功事例を学習してみよう	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・自社の業界など、近いところで探して研究してみた成功事例の発表	_月 _日 _時 _分
【第3回】	教養講義 (動画)	・コンピューターのしくみ ・インターネットのしくみ	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・コンピューターとインターネットのしくみについて疑問点を話し合う	_月 _日 _時 _分
【第4回】	教養講義 (動画)	・独自ドメインを取得して、メールを送受信できるようにする ・カレンダーを共有する	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・ドメインの取得、メールの運用がうまくいっているか確認する ・カレンダー共有がうまくいっているか確認する	_月 _日 _時 _分
【第5回】	教養講義 (動画)	・ビジネスチャットができるようにする ・チャットとメールを使い分ける	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・ビジネスチャットを使ってみる ・メーリングリストを使ってみる	_月 _日 _時 _分
【第6回】	教養講義 (動画)	・ウェブ会議ができるようにする ・議事録をリアルタイムに作成する	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・ウェブ会議を使ってみる ・オンライン講義の講義録を作成してみる	_月 _日 _時 _分

# スケジュール

## 3ヶ月間の受講スケジュール

スケジュールが決まったら、「受講日」の欄に記入しましょう。

受講回	種別	講義内容	受講日
【第7回】	教養講義 (動画)	・ファイルを共有する ・電話連絡帳を作成する	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・pdfファイルなどをGoogleドライブに保管する ・電話連絡帳を使ってみる	_月 _日 _時 _分
【第8回】	教養講義 (動画)	・チームの情報ポータルページを作成する ・Google AppSheetでアプリを作成する	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・ポータルページ、AppSheetのアプリを確認する	_月 _日 _時 _分
【第9回】	教養講義 (動画)	・Gemini for Google Workspaceを使用する ・Google Workspace以外の選択肢	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・Google Workspaceの総復習	_月 _日 _時 _分
【第10回】	教養講義 (動画)	・IT導入5つの原則 ・ソフトウェアの種類:業務ソフトウェアと基幹ソフトウェア ・目標を明確にする	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・各自の会社のIT導入状況を話し、 ソフトウェアの選択肢に関して講師からアドバイスをもらう	_月 _日 _時 _分
【第11回】	教養講義 (動画)	・ワークフローを書いてみる ・導入計画を立案する	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・自社のワークフロー図を書いてみる ・完成した各社のワークフロー図を発表し議論する	_月 _日 _時 _分
【第12回】	教養講義 (動画)	・プレゼンテーション ・IT導入を実行していく	_月 _日 _時 _分
	実践型講義 (講師)	・スケジュールと予算表を発表しよう ・プレゼンテーションを作ろう	_月 _日 _時 _分

## 受講の基本的な流れ

# 受講の基本的な流れ

## 動画視聴



オンライン学習システム「Moodle」で「教養講義(動画)」をご視聴いただきます。

気になる箇所は、くりかえし視聴して理解を深めましょう。

# 受講の基本的な流れ

## 教科書を読む



「実践型講義」や「教養講義(動画)」を受講する際には、教科書をご準備ください。  
また、教科書は予習・復習にも積極的にご活用ください。

本講座で学んでいく Google Workspace にも、Google の AI 「Gemini」が標準機能として組み込まれており、追加料金なしで利用することができます。Google Workspace の画面右上に表示される星型の Gemini アイコンをクリックすると「サイドパネル」が開き、

- 長いメールのスレッドやドキュメントの要約
- スプレッドシートのデータ分析
- 文書内容の理解と要約
- ドキュメントの作成支援
- メール返信案の提案
- スライドの作成支援
- 画像の生成

などを行うことができます。具体的にどのような活用ができるのか、17 章で詳しく解説しています。

### 強い AI と弱い AI

AI の分類には「強い AI」と「弱い AI」という分け方と、「特化型 AI」と「汎用型 AI」の 2 種類があります。

「強い AI」とは、人間のような自意識や知能を持ち、高度な判断力を持つ AI のことで、「弱い AI」とは、知能を持たず特定の分野の問題の解決に特化した AI のことです。

この分類は哲学者のジョン・サールが考案して 1980 年に発表された「強い AI」は、現在は実現しておらず、フィクションの世界に属します。例えば、手塚治虫の有名作品「鉄腕アトム」のアトムは、強い AI です。鉄腕アトムは、目で見たり耳で聞いたりして情報を集め、自ら判断して行動します。悪いやつをやっつけてきたら褒め、いいやつを褒める、自分の判断で行っているのです。

ChatGPT は典型的な「弱い AI」です。人間の質問に答えてくれたり、データ解析をしてくれたりしますが、自意識もないですし、高度な判断力を持つ AI は人間の仕事を奪うものではなく、人間の仕事を手伝ってほしいのです。

### 特化型 AI と汎用型 AI

特化型 AI (Artificial Narrow Intelligence: ANI) は、音声認識といった狭い範囲のみに特化している AI です。たとえば「マネープラン」や「freee 会計」などのクラウド会計システムでは、勘定科目を登録し、過去の蓄積されたデータから「これは現金」「これは旅費支出」してくれるのです。

### コンピューターのしくみを知ることは提案に役立つ

IT 導入を考えるにあたり「コンピューターのしくみ」と「インターネットのしくみ」を理解していると役に立つことが色々あります。

毎日運転している車がオートマチックだと不安になる人がいます。「エンジンで生み出された回転力がドライブシャフトを経由して車輪に伝わるのだが、この回転数を制御するのはギアがある。これを自動で制御するのがオートマチックトランスミッションなのだ」と、これを理解しないとオートマチック車を運転するのが不安なもので、(ドライブ) モードに入れたらアクセルを踏めば動く」ということでは「なんか大層だな」と思うことも、頭で理解しないと道に迷ってしまうのです。

コンピューターのしくみを知っておくことは、このような、頭で理解できないことを説明するのに有効です。

また、コンピューターの性能の指標となるさまざまな数字の意味を理解するにも役立ちます。

### コンピューターの構成

人間は、目や耳などから情報を入力し、脳に記憶して、すぐに組み合わせて計算や判断をし、その結果を口で話したり手足を動かしたり。コンピューターも同じようにキーボードやマウスから情報を入力し、CPU が計算や判断をし、その結果をモニターやプリンターに出力する。

図 50 コンピューターの 5 大構成要素<sup>46)</sup>

<sup>46)</sup> <https://bit.ly/3dwZK5s>

94

### 基幹ソフトウェアと業務ソフトウェア

企業が利用するソフトウェアは、「業務ソフトウェア」と呼ばれるものと「基幹ソフトウェア」といわれるものに分類されます。

業務ソフトウェアは仮に止まったとしても、不便ではあるがなんとかなるソフトウェアです。これまで学んできた Google Workspace などはこの一つで、もし使えなくなっても、従来と同じようにアナログでリアルにやればよいわけです。

一方、基幹ソフトウェアは、ソフトウェアが止まると企業活動が停止してしまうソフトウェアのことです。

航空会社なら運行管理システム、製造業なら生産管理ソフトウェアなどがこれにあたります。

Google Workspace を導入して、社内のコミュニケーションが充実したら、その次を考えます。

日本のソフトウェア業界では以前から企業で導入するソフトウェアを「基幹ソフトウェア(または基幹システム)」と「業務ソフトウェア(または業務システム)」と分けて考えてきました。

### 業務ソフトウェアの例

業務ソフトウェアと呼ばれるのは以下のようなものです。

- グループウェア (これまで学んできた製品では Google Workspace または Microsoft 365)
- ドキュメント管理ソフトウェア (これまで学んできた製品では Google ドライブまたは One Drive)
- メールソフトウェア (これまで学んできた製品では Google Workspace に含まれる Gmail または Microsoft 365 に含まれる Outlook)
- スケジュール管理ソフトウェア (これまで学んできた製品では Google Workspace に含まれる Google カレンダーまたは Microsoft 365 に含まれる Outlook)

200



# 受講の基本的な流れ

## 小テスト受験



「教養講義(動画)」の受講後には、小テストを受験してください。

小テストはオンライン学習システム「Moodle」で受験することができます。

# IT導入士初級コース

ダッシュボード / コース / 初級コース / 第1講\_IT導入士の業務内容 / #1\_IT導入士の業務内容 / プレビュー

問題 1

未解答

最大評価 1.00

▼ 問題にフラグを付ける

⚙ 問題を編集する

次の[ ]に入る言葉の組み合わせを選びなさい。

IT導入診断士は、現状をよく知っている自社にITを導入して、  

▼

ができる資格をいいます。

問題 2

未解答

最大評価 1.00

▼ 問題にフラグを付ける

⚙ 問題を編集する

企業のDX化、特に中小企業へのIT導入が叫ばれる中、最も不足しているのは  

✓

資金

資源

人材

能力

です。

小テストナビゲーション

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

テストを終了する ...

新しいプレビューを開始する

# 受講の基本的な流れ

## 課題提出



「実践型講義」までに課題の提出があります。

忘れずに取り組みましょう。

第2講\_ITを導入するメリット



自社にITを導入するメリットを書き出してみましょう。

### 評定概要

学生から秘匿	No
参加者	1
提出	0
要評定	0
終了日時	2021年 03月 4日(Thursday) 00:00
残り時間	課題の提出期限が到来しました。

すべての提出を表示する

評点

◀ #1\_IT導入士の業務内容

ジャンプ ...

#2\_ITを導入するメリット ▶

# 受講の基本的な流れ

## 実践型講義の受講



1週間に一度、講師による「実践型講義」をウェブ会議で開催します。

教科書や動画内では紹介しきれなかった豆知識や実際の操作など、実践的な内容をお届けします。

曜日と時間を定めて行いますので、お時間の確保をお願いします。



# オンライン学習システムの使い方

## 教養講義(動画)を受講する

# オンライン学習システムの使い方

## オンライン学習システム「Moodle(ムードル)」



オンライン学習システム「Moodle(ムードル)」イメージ

「教養講義(動画)」の視聴や小テストの実施、課題の提出はオンライン学習システム「Moodle」を利用します。

「Moodle」で学ぶ世界のユーザー数は3億人以上で、日本国内では、上智大学や早稲田大学も採用しているほど信頼されているシステムです。

- ・ 2001年にマーティン＝ドウギアスによって作られた  
オンライン学習管理システム
- ・ 世界で240ヶ国以上、3億以上のユーザーの利用
- ・ ビデオ、PDF、Word、Excelなどを簡単にアップロードおよび共有可能
- ・ 細かな成績管理が可能
- ・ フォーラム、Wiki、課題などインタラクティブなコンテンツを簡単に作成可能
- ・ 100名レベルから数万人規模まで対応可能

# オンライン学習システムの使い方

## オンライン学習システム受講の流れ

---

オンライン学習システムにログインして、「教養講義(動画)」を視聴します。

「教養講義(動画)」の視聴後、教科書を参照し、復習してください。

復習後に、小テストを受験します。

実践型講義までに、オンライン学習システム上で課題を提出してください。



# オンライン学習システムの使い方

## ログイン

Moodleにログインするため、申し込み時にご登録いただいたメールアドレス宛に届いている案内メールを開きます。



### 【注意】

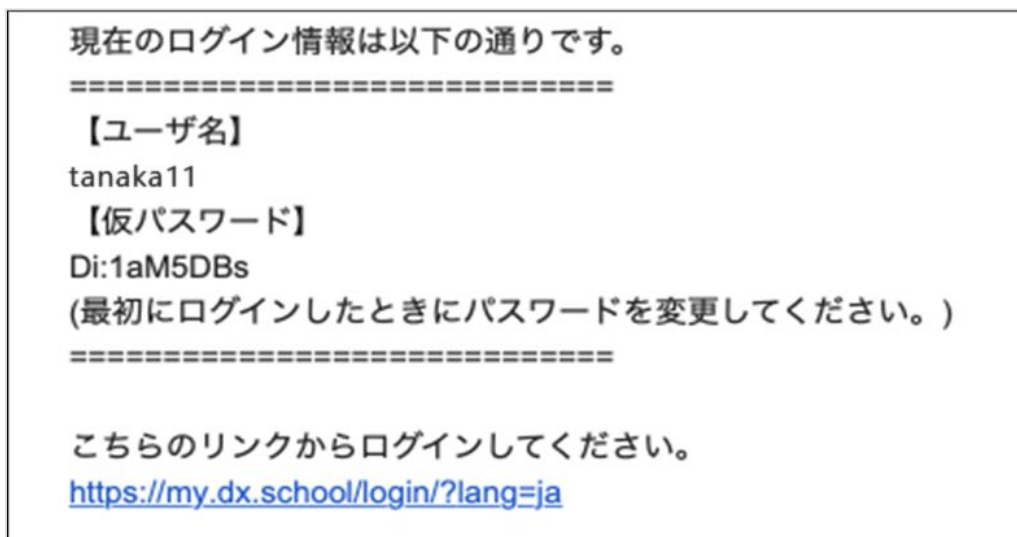
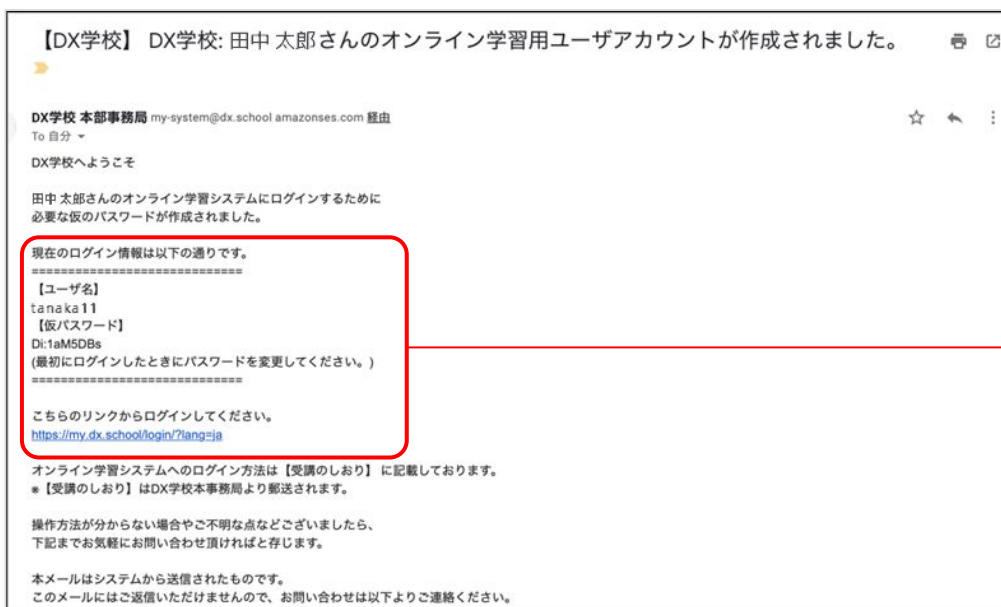
稀に迷惑メールに振り分けられる場合もございます。必要に応じて、迷惑メールフォルダをご確認ください。また、メールが届かない場合は、DX学校本部事務局へご相談ください。メールの件名や本文の内容は予告なく変更となる可能性がございます。

# オンライン学習システムの使い方

## ログイン

メール本文内に記載のあるログインURLをクリックしてください。

ログインする際に、同じくメール本文に記載のあるユーザ名とパスワードが必要になります。





# オンライン学習システムの使い方

## ログイン

赤枠のリンクをクリックします。

現在のログイン情報は以下の通りです。  
=====

【ユーザ名】  
tanaka11

【仮パスワード】  
Di:1aM5DBs  
(最初にログインしたときにパスワードを変更してください。)  
=====

こちらのリンクからログインしてください。  
<https://my.dx.school/login/?lang=ja>

ログイン画面でユーザ名とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックしてください。

DX 学校

①

②

☒ ユーザ名を記憶する

ログイン

あなたのユーザ名またはパスワードを忘れましたか？

あなたのブラウザのクッキーを有効にしてください。 ?

① ユーザ名を入力

② パスワードを入力

# オンライン学習システムの使い方

## ログイン

初回のログイン時に、パスワードの変更を求められます。

メールで送信されたパスワードは、自動で生成されたものですので、ご自身で管理するパスワードに変更してください。

The screenshot shows a web form titled "パスワードを変更する" (Change Password). At the top, a message says "続けるにはパスワードを変更してください。" (To continue, please change your password). The form includes a "ユーザ名" (Username) field with the value "a.fukuhara2". Below it, a note specifies password requirements: "パスワードには 少なくとも 8 文字, 少なくとも 1 個の数字, 少なくとも 1 文字の小文字, 少なくとも 1 文字の大文字, 少なくとも 1 文字の「\*」「-」「#」のような非英数字を入力する必要があります。" (The password must contain at least 8 characters, at least 1 digit, at least 1 lowercase letter, at least 1 uppercase letter, and at least 1 non-alphanumeric character like \*, -, or #). There are three password input fields: "現在のパスワード" (Current Password), "新しいパスワード" (New Password), and "新しいパスワード (もう一度)" (New Password (again)). Each field has a red exclamation mark icon indicating a warning. At the bottom, there is a blue button labeled "変更を保存する" (Save changes).

「現在のパスワード」には、メールで届いたパスワードを入力します。

The screenshot shows a message box with the following text: "あなたの現在のログイン情報は以下のとおりです:" (Your current login information is as follows:), "ユーザ名: tanaka11" (Username: tanaka11), "パスワード: cYH6SqzG9:" (Password: cYH6SqzG9:), and "(最初にログインしたときにパスワードを変更してください)" (Please change the password when you first log in). At the bottom, it says "DX学校 で作業を始めるには <https://my.dx.school/login/?lang=ja> にログインしてください。" (To start working in DX School, please log in to <https://my.dx.school/login/?lang=ja>).

新しいパスワードには、ご自身で任意のパスワードを入力してください。

パスワードは、以下の条件を満たす必要があります。

- 8文字以上
- 1文字は「数字」が含まれる
- 1文字は「英数字の小文字」が含まれる
- 1文字は「英数字の大文字」が含まれる

例)

誤:yamada0123 →大文字が抜けている

正:Yamada0123 →すべて満たしている

# オンライン学習システムの使い方

## ログイン

パスワードの変更に成功すると以下の画面が表示されます。「続ける」をクリックします。



# オンライン学習システムの使い方

## ログイン

以下のダッシュボードが表示されれば、ログイン完了です。



次回以降のために、ログインページをブックマークしておきましょう。

万が一ログインURLがわからなくなった場合は、以下のURLをブラウザに打ち込み、アクセスしてください。

<https://my.dx.school/>

# オンライン学習システムの使い方

## パスワードの再設定

万が一パスワードを失念してしまった場合は、ログイン画面から再設定の処理をします。

赤枠内の「あなたのユーザ名またはパスワードを忘れましたか？」をクリックします。

DX 学校

tanaka11

パスワード

☒ ユーザ名を記憶する

ログイン

あなたのユーザ名またはパスワードを忘れましたか？

あなたのブラウザのクッキーを有効にしてください。 ?

# オンライン学習システムの使い方

## パスワードの再設定

ユーザ名もしくはメールアドレスを入力して「検索」をクリックします。

DX学校

日本語 (ja) ▼

あなたはログインしていません。

DX学校

[Home](#) / [ログイン](#) / [パスワード喪失](#)

パスワードをリセットするにはあなたのユーザ名またはメールアドレスを以下に入力してください。データベース内であなたを探すことができた場合、再度アクセスするための手順を記載したメールをあなたのメールアドレス宛に送信します。

ユーザ名で検索する

ユーザ名

①

検索

メールアドレスで検索する

メールアドレス

②

検索

①ユーザ名を入力もしくは、②メールアドレスを入力して「検索」をクリックすると、登録されているメールアドレス宛にメールが送信されます。

※メールが届かない、もしくはユーザ名・登録したメールアドレスどちらも不明な場合は、事務局までお問い合わせください。

# オンライン学習システムの使い方

## パスワードの再設定

以下の画面が表示されたら、メールの受信を確認しましょう。

DX学校 日本語 (ja) ▼

あなたはログインしていません。

DX学校

[Home](#) / [ログイン](#) / [パスワード喪失](#)

正しいユーザ名またはユニークなメールアドレスを入力した場合、あなたにメールが送信されているはずです。

送信されたメールにはパスワードの変更を確認および完了するための簡単な説明が記載されています。パスワード変更作業が難しい場合、サイト管理者にご連絡ください。

続ける



メール受信ボックス



# オンライン学習システムの使い方

## パスワードの再設定

メール本文のリンクをクリックします。



[https://my.dx.school/login/forgot\\_password.php?token=2NnEEkgnKjHGeWgx6G7W098DBbzCY7DW](https://my.dx.school/login/forgot_password.php?token=2NnEEkgnKjHGeWgx6G7W098DBbzCY7DW)  
(このリンクは最初にリセットがリクエストされてから 30 分間有効です)



DX学校

日本語 (ja)

あなたはログインしていません。

DX学校

Home / ログイン / パスワード喪失

あなたの新しいパスワードを以下に入力した後、保存してください。

パスワードを設定する

ユーザ名

tanaka11

パスワードには 少なくとも 8 文字, 少なくとも 1 個の数字, 少なくとも 1 文字の小文字, 少なくとも 1 文字の大文字, 少なくとも 1 文字の「\*」「-」「#」のような非英数字 を入力する必要があります。

新しいパスワード

新しいパスワード (もう一度)

変更を保存する

キャンセル

マークが付けられたフィールドは必須入力フィールドです。

新しいパスワードを入力して「変更を保存する」をクリックします。



# オンライン学習システムの使い方

## パスワードの再設定

「あなたのパスワードが設定されました」と表示されたら、パスワードの再設定は完了です。



# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

まずはプロフィールを開き、画像を設定しましょう。(※どのようなお写真でも結構です。)赤枠の名前をクリックします。



次にプロフィールを選択します。



「DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速に向けた研究会の中間報告書」によれば「約500社における全体の9割以上の企業がDXにまったく取り組めていないレベルか、散発的な実施に留まっている状況であること企業全体におけるDXへの取組は全く不十分なレベルにあると認識せざるを得ない。」と評価されています。

# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

「プロフィールを編集する」をクリックします。



田中 太郎 ● メッセージ

ダッシュボード / プロファイル

ページをデフォルトにリセットする このページをカスタマイズする

ユーザ詳細

メールアドレス  
jmcmusicartcreator@gmail.com

国  
日本

プロフィールを編集する

その他

ブログエントリ  
フォーラム投稿  
フォーラムディスカッション  
学習プラン

レポート

ブラウザセッション  
評価概要

ログイン活動

サイトへの最初のアクセス  
2021年 03月 22日(Monday) 14:19 (39分 14秒)

サイトへの最終アクセス

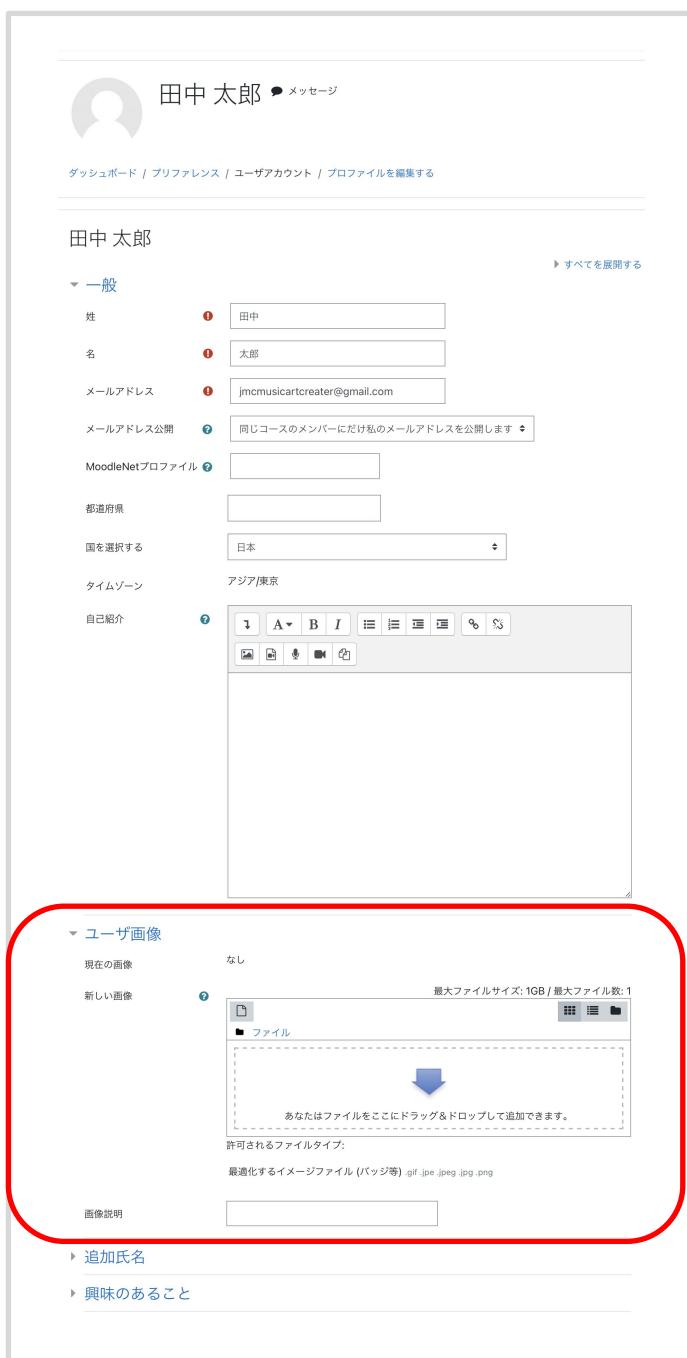
プライバシーおよびポリシー  
データ保持概要

コース詳細  
コースプロフィール  
IT導入士コース

# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

プロフィール編集画面の下段あたりに「ユーザ画像」というセクションがあります。こちらに画像をセットします。



田中 太郎 ● メッセージ

ダッシュボード / プリファレンス / ユーザアカウント / プロフィールを編集する

田中 太郎 [すべてを展開する](#)

▼ 一般

姓

名

メールアドレス

メールアドレス公開 ☐ 同じコースのメンバーにだけ私のメールアドレスを公開します

MoodleNetプロフィール

都道府県

国を選択する

タイムゾーン

自己紹介

▼ ユーザ画像

現在の画像 なし

新しい画像

最大ファイルサイズ: 1GB / 最大ファイル数: 1

ファイル

あなたはファイルをここにドラッグ&ドロップして追加できます。

許可されるファイルタイプ:  
最適化するイメージファイル (バッチ等) gif, jpeg, png

画像説明

▶ 追加氏名

▶ 興味のあること

# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

青い矢印をクリックします。(画像を直接ドラッグ&ドロップすることも可能です。)

ユーザ画像

現在の画像

新しい画像

なし

最大ファイルサイズ: 1GB / 最大ファイル数: 1

ファイル

あなたはファイルをここにドラッグ&ドロップして追加できます。

許可されるファイルタイプ:

最適化するイメージファイル (バッジ等) .gif .jpe .jpeg .jpg .png

画像説明

以下画面で「ファイルのアップロード」→「ファイルを選択」の順にクリックします。

ファイルピッカ

最近のファイル

ファイルのアップロード

URLダウンローダ

プライベートファイル

Amazon S3

Wikimedia

添付

ファイルを選択

ファイル未選択

名前を付けて保存する

作成者

田中 太郎

ライセンスを選択する

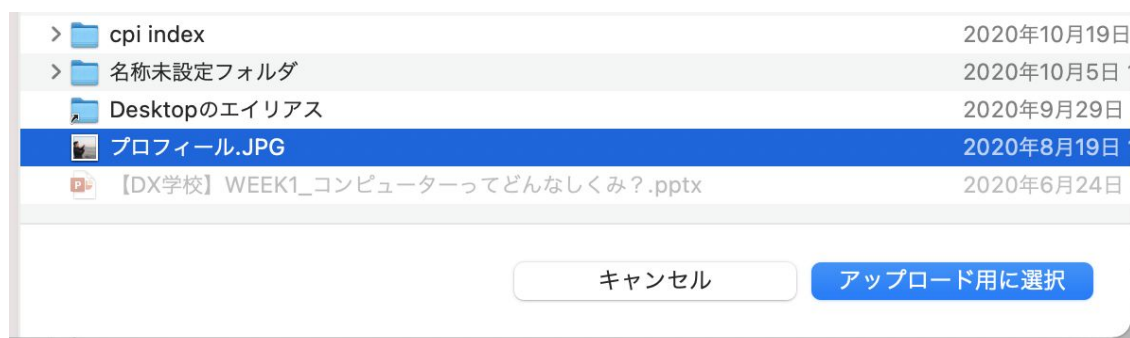
ライセンス未指定

このファイルをアップロードする

# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

画像を選択し「アップロード用に選択」をクリックします。



希望の画像が設定されていることを確認して「このファイルをアップロードする」をクリックします。



# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

画像イメージを確認したら、最後に必ず「プロフィールを更新する」ボタンをクリックして、更新を完了してください。

▼ ユーザ画像

現在の画像

なし

新しい画像

?

最大ファイルサイズ: 1GB / 最大ファイル数: 1

ダウンロード

グリッド

リスト

フォルダ

ファイル



プロフィール...

許可されるファイルタイプ:

最適化するイメージファイル (バッジ等) .gif .jpe .jpeg .jpg .png

画像説明

追加氏名

興味のあること

任意

プロフィールを更新する

キャンセル

# オンライン学習システムの使い方

## プロフィール画像設定

これでプロフィールに画像が設定されました。





# オンライン学習システムの使い方

## コース概要

ダッシュボードでは赤枠内に受講しているコースが表示されます。



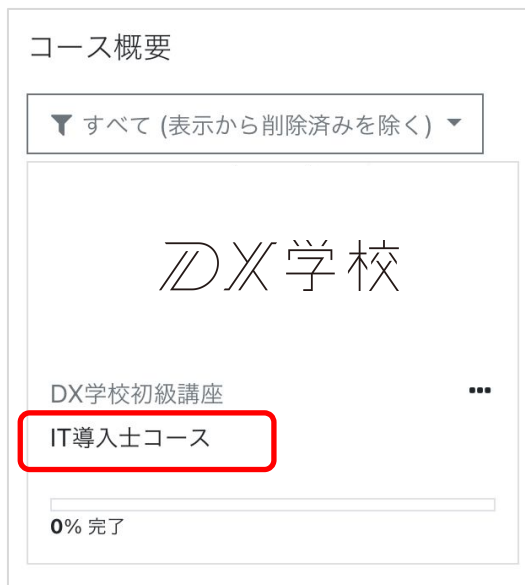
コース名とコースの進捗率が表示されます。



# オンライン学習システムの使い方

## コースを開く

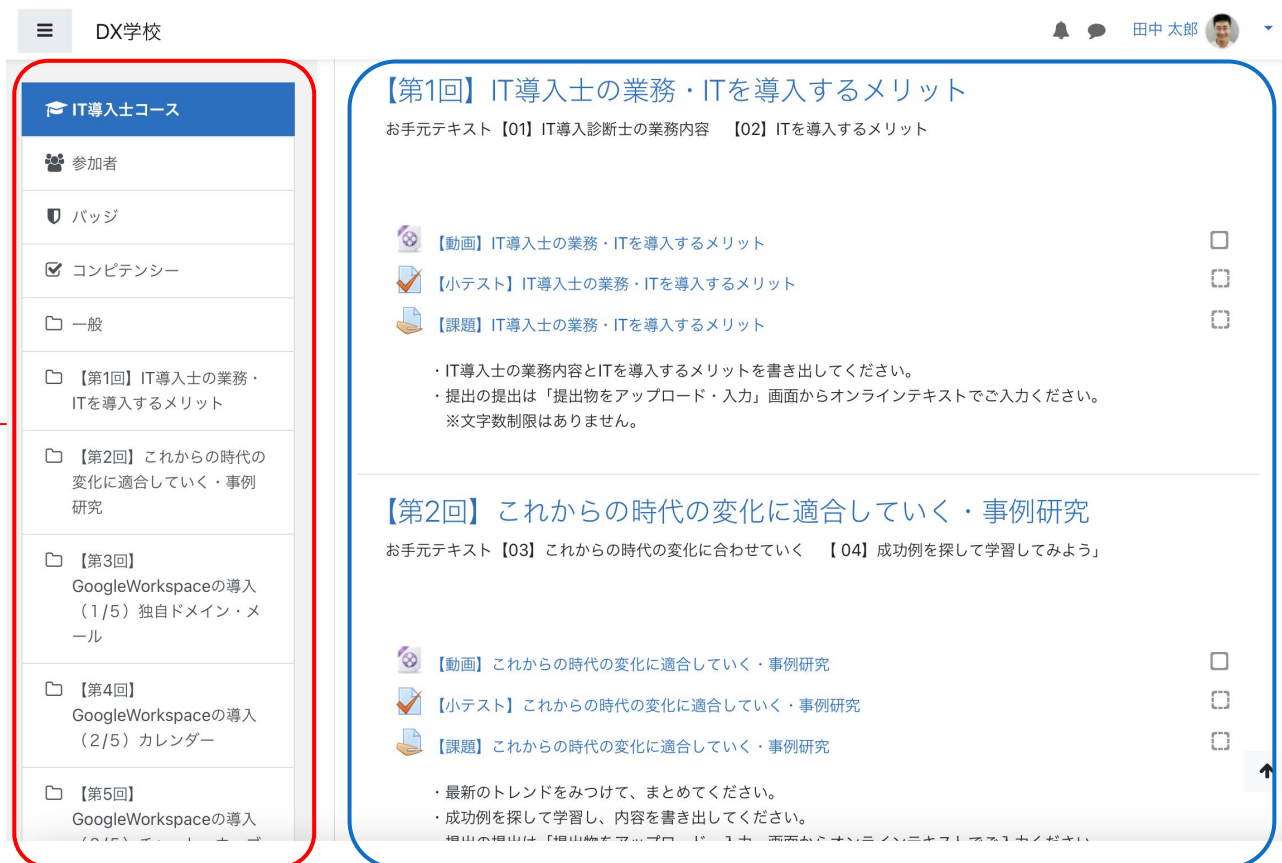
コース名をクリックするとコースの内容が表示されます。



# オンライン学習システムの使い方

## コース画面

主に左側のサイドバーと右側のコンテンツエリアに分かれます。



### サイドバー

・各メニューや講義のタイトルが表示されています。

### コンテンツエリア

・各講義がセクションに格納されています。

# オンライン学習システムの使い方

## コンテンツエリア

各講義は【第1回】【第2回】…とセッションごとに分かれています。

<h2>【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット</h2> <p>お手元テキスト 【01】 IT導入診断士の業務内容 【02】 ITを導入するメリット</p>		
	【動画】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット	<input type="checkbox"/>
	【小テスト】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット	<input type="checkbox"/>
	【課題】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット	<input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。</li> <li>・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。 ※文字数制限はありません。</li> </ul>		
<h2>【第2回】これからの時代の変化に適合していく・事例研究</h2> <p>お手元テキスト 【03】 これからの時代の変化に適合していく 【04】 成功例を探して学習してみよう</p>		
	【動画】 これからの時代の変化に適合していく・事例研究	<input type="checkbox"/>
	【小テスト】 これからの時代の変化に適合していく・事例研究	<input type="checkbox"/>
	【課題】 これからの時代の変化に適合していく・事例研究	<input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新のトレンドをみつけて、まとめてください。</li> <li>・成功例を探して学習し、内容を書き出してください。</li> <li>・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。 ※文字数制限はありません。</li> </ul>		↑
<h2>【第3回】GoogleWorkspaceの導入（1/5）独自ドメイン・メール</h2> <p>お手元テキスト 【05】 メールを送受信できるようにする</p>		
	【動画】 GoogleWorkspaceの導入（1/5）独自ドメイン・メール	<input type="checkbox"/>
	【課題】 GoogleWorkspaceの導入（1/5）独自ドメイン・メール	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊の手引書に従って独自ドメインを取得し、メールを送受信できるようにしましょう。 ※実践のみで課題の提出はありません。次回の講師実践講義日までにご対応ください。</li> </ul>		
<h2>【第4回】GoogleWorkspaceの導入（2/5）カレンダー</h2> <p>お手元テキスト 【06】 カレンダーを共有する</p>		
	【小テスト】 GoogleWorkspaceの導入（2/5）カレンダー	<input type="checkbox"/>
	【課題】 GoogleWorkspaceの導入（2/5）カレンダー	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊の手引書に従ってカレンダーを共有してみましょう。 ※実践のみで課題の提出はありません。次回の講師実践講義日までにご対応ください。</li> </ul>		
	第4回 GoogleWorkspaceの導入（2/5）カレンダー	<input type="checkbox"/>
<h2>【第5回】GoogleWorkspaceの導入（3/5）チャット・ウェブ会議</h2>		↑

スケジュールに沿って受講しましょう。

# オンライン学習システムの使い方

## コンテンツエリア

各セクションの構成は、

【動画】→【小テスト】→【課題】となっています。

### 【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

お手元テキスト 【01】IT導入診断士の業務内容 【02】ITを導入するメリット



【動画】IT導入士の業務・ITを導入するメリット



【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット



【課題】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

- ・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。
- ・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。  
※文字数制限はありません。



動画視聴、小テスト受験後は画面右側のチェックボックス(赤枠)にチェックが入ります。

# オンライン学習システムの使い方

## 動画の視聴



赤枠の【動画】のタイトルをクリックすると動画再生が始まります。

【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

お手元テキスト 【01】IT導入診断士の業務内容 【02】ITを導入するメリット

- 【動画】IT導入士の業務・ITを導入するメリット
- 【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット
- 【課題】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。  
・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。  
※文字数制限はありません。



DX 学校

DX 学校

IT導入士 (初級) 講座 第1回

DX学校 校長  
株式会社ディグナ  
代表取締役 梅崎 健理

# オンライン学習システムの使い方

## 動画視聴後



動画の視聴後は**ブラウザの戻るボタン**で前の画面に戻ってください。



※上記はWebブラウザSafariの画面です。



前の画面に戻ると、教養動画受講完了を意味するチェックが入ります。

**【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット**  
お手元テキスト 【01】IT導入診断士の業務内容 【02】ITを導入するメリット

【動画】IT導入士の業務・ITを導入するメリット 212.5MB ビデオファイル (MP4) アップロード 21年 03月 19日 14:01

【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

【課題】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

☒

☐

☐

- ・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。
- ・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。

※文字数制限はありません。

# オンライン学習システムの使い方

## 小テスト受験



動画視聴後は教科書で復習して、小テストを受験してください。

【小テスト】……をクリックします。

【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

お手元テキスト 【01】 IT導入診断士の業務内容 【02】 ITを導入するメリット

- 【動画】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット 212.5MB ビデオファイル (MP4) アップロード 21年 03月 19日 14:01
- 【小テスト】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット
- 【課題】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット

・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。  
・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。  
※文字数制限はありません。



「問題を受験する」をクリックします。

IT導入士コース

ダッシュボード / マイコース / IT導入士コース / 【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット / 【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

受験可能回数: 10  
 評定方法: 最高評点

問題を受験する

◀ 【動画】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット    ジャンプ ...    【課題】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット ▶

※上記はサンプル画面です。受験可能回数等に変更になる可能性があります。



# オンライン学習システムの使い方

## 小テスト受験



下記のように複数の選択肢から正しい答えを選び出します。  
解答し終わったら「テストを終了する」をクリックします。

問題 1

未解答

最大評点 1.00

問題にフラグを付ける

2021年現在から20年前（2000年頃）に、予想することができなかった「携帯電話でできること」がテキストにあげていましたが、2021年現在において携帯電話で**できないこと**を選んでください。

- ☐ a. コンビニでも携帯電話をかざすだけで何でも買える。
- ☐ b. 財布や定期券を忘れても携帯電話をかざすことで空間転移して一瞬で取引先に行く
- ☐ c. 打ち合わせにメモ帳やペンを持って行かなくても携帯電話にメモが取れる
- ☐ d. 道が分からなかったら携帯電話が道案内してくれる

▼

問題 1

未解答

最大評点 1.00

問題にフラグを付ける

2021年現在から20年前（2000年頃）に、予想することができなかった「携帯電話でできること」がテキストにあげていましたが、2021年現在において携帯電話で**できないこと**を選んでください。

- ☐ a. コンビニでも携帯電話をかざすだけで何でも買える。
- ☒ b. 財布や定期券を忘れても携帯電話をかざすことで空間転移して一瞬で取引先に行く
- ☐ c. 打ち合わせにメモ帳やペンを持って行かなくても携帯電話にメモが取れる
- ☐ d. 道が分からなかったら携帯電話が道案内してくれる

[私の選択をクリアする](#)

▼

- ☐ a. MaaS
- ☐ b. PaaS
- ☒ c. SaaS
- ☐ d. IaaS

[私の選択をクリアする](#)

テストを終了する ...

# オンライン学習システムの使い方

## 小テスト受験



確認画面が表示されます。すべての問題に解答したことを確認のうえ、「すべての解答を送信して終了する」をクリックします。



問題	ステータス
1	解答保存済み
2	解答保存済み
3	解答保存済み
4	解答保存済み
5	解答保存済み

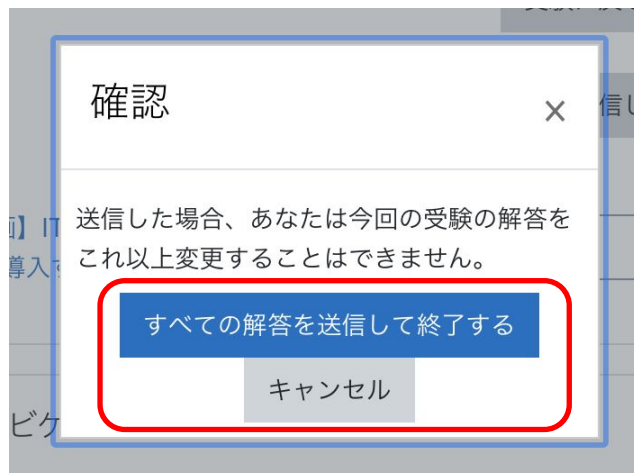
受験に戻る

すべての解答を送信して終了する

確認画面が表示されます。

再度「すべての解答を送信して終了する」をクリックしてください。

※解答した内容や解答漏れを確認したい場合は、「キャンセル」をクリックして修正してください。



確認

送信した場合、あなたは今回の受験の解答をこれ以上変更することはできません。

すべての解答を送信して終了する

キャンセル

# オンライン学習システムの使い方

## 小テスト結果の確認



テストの結果が表示されます。

間違ってしまった箇所を確認し、教科書で復習のうえ、再度受験してください。



田中 太郎


### IT導入士コース

ダッシュボード / マイコース / IT導入士コース / 【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット / 【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

開始日時	2021年 03月 22日 (Monday) 16:07
状態	終了
完了日時	2021年 03月 22日 (Monday) 16:15
所要時間	8 分 12 秒
得点	1.00 / 5.00
評点	2.00 / 10.00 (20%)
フィードバック	全体的によくできていました

問題 1

不正解

0.00 / 1.00

🚩 問題にフラグを付ける

次の[ ]に入る言葉の組み合わせを選びなさい。

IT導入診断士は、現状をよく知っている自社にITを導入して、業務最適化と省力化 ✖ ができる資格をいいます。

あなたの答えは正しくありません。

正解:

次の[ ]に入る言葉の組み合わせを選びなさい。

IT導入診断士は、現状をよく知っている自社にITを導入して、[業務効率化と省力化] ができる資格をいいます。

問題 2

不正解

0.00 / 1.00

🚩 問題にフラグを付ける

企業のDX化、特に中小企業へのIT導入が叫ばれる中、最も不足しているのは 資源 ✖ です。

あなたの答えは正しくありません。

正解:

企業のDX化、特に中小企業へのIT導入が叫ばれる中、最も不足しているのは [資金] です。

# オンライン学習システムの使い方

## 小テスト結果の確認



定められた正解率の基準を満たすことで・・・

IT導入士コース


ダッシュボード / マイコース / IT導入士コース / 【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット / 【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット


開始日時	2022年 03月 21日 (Monday) 16:24
状態	終了
完了日時	2022年 03月 21日 (Monday) 16:25
所要時間	28 秒
得点	4.00 / 5.00
評点	<b>8.00 / 10.00 (80%)</b>
フィードバック	全体的によくできていました


受験完了を意味するチェックが入ります。

【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

お手元テキスト 【01】IT導入診断士の業務内容 【02】ITを導入するメリット


【動画】IT導入士の業務・ITを導入するメリット 212.5MB ビデオファイル (MP4) アップロード 21年 03月 19日 14:01


【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット


【課題】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

- ・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。
- ・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。

※文字数制限はありません。

# オンライン学習システムの使い方

## 課題提出



各講義には課題があります。課題の提出方法を確認しましょう。

赤枠の「課題名」をクリックします。

【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

お手元テキスト 【01】IT導入診断士の業務内容 【02】ITを導入するメリット



【動画】IT導入士の業務・ITを導入するメリット 212.5MB ビデオファイル (MP4) アップロード 21年 03月 19日 14:01



【小テスト】IT導入士の業務・ITを導入するメリット



【課題】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

- ・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。
- ・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。

※文字数制限はありません。

「提出物をアップロード・入力する」をクリックします。

【課題】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

- ・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。
- ・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。

※文字数制限はありません。

提出ステータス

提出ステータス	未提出
評価ステータス	未評価
最終更新日時	-

提出コメント

▶ コメント (0)

提出物をアップロード・入力する



# オンライン学習システムの使い方

## 課題提出



課題提出が完了すると、チェックマークが入ります。

### 【第1回】IT導入士の業務・ITを導入するメリット

お手元テキスト 【01】 IT導入診断士の業務内容 【02】 ITを導入するメリット

 【動画】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット 212.5MB ビデオファイル (MP4) アップロード 21年 03月 19日 14:01 ☒

 【小テスト】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット ☒

 【課題】 IT導入士の業務・ITを導入するメリット ☒

- ・IT導入士の業務内容とITを導入するメリットを書き出してください。
  - ・提出の提出は「提出物をアップロード・入力」画面からオンラインテキストでご入力ください。
- ※文字数制限はありません。

各講義における、【動画】→【小テスト】→【課題】の一連の流れは以上です。

しっかりと学習し、実践型講義に備えましょう。

# ウェブ会議システムの使い方

実践型講義を受講する



# ウェブ会議システムの使い方

## 実践型講義受講の流れ



# ウェブ会議システムの使い方

## 実践型講義への準備・予習をする



実践型講義は、教養動画の内容に基づいて行います。

カリキュラム一覧を確認し、受講に向けて準備をしましょう。

### カリキュラム一覧

受講回	章	教養講義内容(動画&教科書)	実践型 講義内容
1	第1章	IT導入士の業務内容	・IT導入士の仕事とIT導入のメリットを話し合う
	第2章	ITを導入するメリット	
2	第3章	時代の変化に合わせていく	・自社の業界など、近いところで探して研究してみた成功事例の発表
	第4章	成功事例を学習してみよう	
3	第5章	コンピューターのしくみ	・コンピューターとインターネットのしくみについて疑問点を話し合う
	第6章	インターネットのしくみ	
4	第7章	独自ドメインを取得して、メールを送受信できるようにする	・ドメインの取得、メールの運用がうまくいっているか確認する ・カレンダー共有がうまくいっているか確認する
	第8章	カレンダーを共有する	
5	第9章	ビジネスチャットができるようにする	・ビジネスチャットを使ってみる ・Googleグループを作ってみる
	第10章	チャットとメールを使い分ける	
6	第11章	ウェブ会議ができるようにする	・ウェブ会議を使ってみる ・オンライン講義の議事録を作成してみる
	第12章	議事録をリアルタイムに作成する	

# ウェブ会議システムの使い方

## Google Meetでオンライン講義に参加する



ウェブ会議システムの使い方は、  
『Google Workspaceのはじめ方』をご参照ください。

## Google Meetの使い方・講義内のルール

- ・ 発言者以外は、必ずミュートにしてください。
- ・ 基本は、ビデオをオンにしてください。
- ・ 必要に応じて、チャット機能をご活用ください。



# ウェブ会議システムの使い方

## 実践・発表する



実践形式の講義では、実際にパソコンを操作したり意見交換をしたりします。  
また、プレゼン資料を作成して発表する機会もあります。

講師や他の生徒が発言しているときは、ご自身のパソコンは必ずミュートにしてください。また、ご自身が発言するときはミュートを解除して、自信を持って発表しましょう！

Google Workspaceを扱う講義では、実際にGoogle Workspaceの主なアプリを使って作業をします。

教科書または「Moodle」に掲載のリンクから『Google Workspaceのはじめ方』(PDFファイル)をダウンロードして、ご活用ください。

不明点があれば、講師に積極的に質問しましょう。



# ウェブ会議システムの使い方

## 講義終了後に復習する



講義後には、もう一度講義の内容を実践してみましょう。

また、講義で覚えたスキルを実際の業務の中で使ってみましょう。

そのなかでご不明な点や疑問点が出てきましたら、些細なことであっても、次回の講義で講師にお気軽にご質問ください。

## 困ったとき

## 困ったとき

困ったら、まずはご自身で調べてみましょう。

---

DX学校は皆さんに「魚を与える」のではなく「魚の釣り方」を教える場所です。ご自身で解決できるようになるためにも、どんどん調べて、調べる力も訓練して行きましょう。

それでもわからない場合は、講義内で講師に相談してみましょう。

相談の際は

- ①何に困っているのか
- ②どんな状況なのか
- ③解決したらどこがゴールになるのか

を自分なりにまとめて、共有しましょう。相談がスムーズになります。

## DX学校事務局

---

DX学校の運営に関するお問い合わせや、外部の方へのご紹介は、お問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。

### 【お問い合わせ】

DX学校本部事務局(運営会社 株式会社ディグナ)

電話番号: 050-3183-8998 (受付 月曜日～金曜日 10～17時)

メール: support@dx.school

DX学校は、あなたの会社の経営課題をデジタル(IT)の力で解決し、  
DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進に並走します。  
3ヶ月間、がんばりましょう！

# DX 学校

株式会社ディグナ  
東京都港区白金3-7-18

※ 2025年3月現在  
※ 資料、しおり、教科書、手引等の内容は予告なく変更する場合がございます。  
※ 第三者の商品またはサービスの名称などは、各社の商標・または登録商標です。